

誰もが住みよい
当別どうつくる

29日に勉強会

【当別】NPOや町職員らでつくる「当別町でのふくしのまちづくり勉強会実行委員会」(大原裕介委員長)は29日午前10時から、町総合保健福祉センター「ゆとろ」(西町32)多目的ホールで第2回勉強会を開く。

同実行委は福祉を通じたまちづくりと地域振興を目指す。今回は「人権をまもる」障がいのある人もない人も

暮らしやすいまちづくり」のテーマで、毎日新聞論説委員の野沢和弘氏が話す。

野沢氏は自閉症の子を持つ親として、2006年に国内で初めて制定された「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を作成するプロジェクトチームで座長を務めた。

当別町民と前回購入したPASS券を持参した人は無料、その他は千円。申し込みは27日までに、ゆうゆう24 ☎25・5137へ。